※令和３年度以前入学生用

学校番号	3011

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「最新　現代社会　新訂版」（実教出版）						
副教材等	「ライブ！2023 公共、現代社会を考える」（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 現代社会が抱える諸問題をとらえる。
- 現代社会で起こる様々な事象に「なぜ」の視点を忘れない。
- 現代社会を背景とした世界の国々の諸事情を踏まえ、現在の日本のあり方を考える。
- 主に新聞・プリント・資料集を用い、時にはＶＴＲ映像を活用して、社会の「今」をとらえる。

２　学習の到達目標

- 現代社会の基本的な問題として、地球環境問題・科学技術の発展などを捉え、現代社会を見る力を養う
- 現代社会の問題と青年期の自己実現への課題などを取り扱い、人間としてのあり方や生き方について考察する
- 民主主義の基本原理や日本国憲法の３大基本原理、日本や世界の政治機構などを理解する
- 法の支配と法治主義との比較、近年の国民の司法参加や、選挙権の引き下げを学び、その参加者としての自覚を養う
- 現代の経済の仕組みを、市場や国民経済の観点から理解するとともに、日本の経済の動きや福祉・労働問題など、現代の課題を考察する
- 国際社会の仕組みや未解決の諸課題について知り、考察する

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の社会を中心とする世界の「今」に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する良識ある公民としての責務を果たそうとする。	現代社会の諸課題を地理的・歴史的・文化的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現する。	現代社会を中心とする世界の「今」に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択整理し、読み取れる。	現代社会を中心とする世界の「今」についての基本的な事柄を地理的条件・歴史的背景・経済状況と関連付けながら理解し、その知識を身に付ける。
評価方法	授業プリント 授業中の発言 〔主題学習〕 授業プリントの完成度	定期考査 授業プリント 〔主題学習〕 授業プリントの完成度	定期考査 授業プリント 〔主題学習〕 授業プリントの完成度	定期考査 授業プリント 〔主題学習〕 確認小テスト等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期中間	わたしたちの生きる社会	・環境・資源・エネルギー問題 ・科学技術をめぐる問題 ・高度情報社会の問題	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○ ○	a:現代社会における地球規模での様々な課題の背景・対策などに関心をもつ。 b:主体的に考察し、自らの判断を表現する。 c:収集した資料を課題の探求に活用している。 d:内容を理解し、知識を身につけている。	定期考査 授業プリント 授業中の発言
一学期期末	現代の民主政治と政治参加の意義 個人の尊厳と法の支配	・基本的人権と法の支配 ・世界の政治体制 ・日本国憲法 ・自由権・平等権・新しい人権 ・国会・内閣・裁判所 ・選挙制度〔主題学習〕 （18歳投票について）	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:民主政治の成立や法の支配、国会や内閣の役割などに対して、関心を持ち意欲的に考える。基本的人権について社会の変化による人権の変化にも関心をもつ。主権者として政治に主体的に参加しようとする態度を身につける。 b:主体的に考察し、自らの判断を表現する。 c:過去の判例や国際的な条約など、収集した資料から課題の探求に活用している。 d:内容を理解し、知識を身につけている。	定期考査 授業プリント 授業中の発言
二学期中間	現代の経済社会と私たちの生活 国際政治の動向と日本の役割	・国家主権と国際法 ・国際連合と国際平和への取り組み ・国境と領土問題 ・経済と経済体制 ・現代の企業と市場	○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a：国家が国際社会で共存するための仕組み、その仕組みを守り平和を実現するための国連活動について関心を持ち知る。わが国が抱える領土問題を、歴史的背景を踏まえ客観的に理解する。われわれに身近な企業や市場のメカニズムに関心をもち、最新の動向も含めて理解する。 b:主体的に考察し、自らの判断を表現する。 c:各種統計資料など、収集した資料から課題の探求に活用している。 d:内容を理解し、知識を身につけている。	定期考査 授業プリント 授業中の発言

※令和３年度以前入学生用

二学期期末	国際経済の動向と日本の役割 現代の経済社会と私たちの生活	・日本経済の現状と展望 ・財政の仕組みと税金 ・労働問題 ・社会保障と福祉社会 ・国際分業と貿易 ・国際経済の動向	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:日本経済を取り巻く経済状況を、次世代を担う一人の公民として主体的に捉え、現状と課題について包括的に関心をもつ。財政・税金・労働・移民・貿易摩擦・産業動向など、もっとも身近な経済問題を、最新のニュースを材料にして考察する。 b:主体的に考察し、社会の一員としての自らの判断を表現する。 c:各種統計資料や個別具体的な事例など、収集した資料から課題の探求に活用している d:内容を理解し、知識を身につけている	定期考査 授業プリント 授業中の発言
三学期 学年末	民主社会に生きる倫理 青年期と自己の形成	・青年期 ・キャリア教育 ・宗教 ・日本の伝統 ・近現代哲学思想	○ ○ ○ ○ ○	○ ○	 ○	 ○ ○ ○	a:生徒にとって現在進行形である青年期の特徴を通じて自己を再確認するとともに、青年期の課題や自らのキャリアについて積極的に考える態度を身につける。 b:自己分析や社会分析を通じて、自らの考えをまとめ、それを文章等で表現する。 c:収集した資料から課題の探求に活用している。 d:内容を理解し、知識を身につけている。	定期考査 授業プリント 授業中の発言

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。